

東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター

2016 年度第 2 回公開研究セミナー

## 大学内専門職の日米比較

—リサーチアドミニストレーターを中心に—

2016 年 6 月 11 日(土)

18:45～20:45

東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟 A200 教室



講師：三代川 典史氏

広島大学 シニア・リサーチ・アドミニストレーター(URA)

〈三代川氏略歴〉在東京オーストラリア大使館教育部勤務の後、修士号をロンドン大学(教育政策学)、及びシンガポール国立大学(公共政策)で獲得。米国のペンシルベニア州立大学で Ph.D.(高等教育管理)を修了後、同大学の国際事業本部長付研究員として勤務。博士論文の題目は「第二次大戦後の米国高等教育への留学生アクセス—NAFSA による連邦政策への影響」。2010 年、同大学の国際化への貢献により“W. LaMarr Kopp International Achievement Award”を受賞。2014 年より広島大学研究企画室に所属し、研究活動の全学的な国際化推進を担当。広島大学高等教育研究開発センター学内研究員。

大学内部の多様な業務に従事する人々が、高度かつ専門的な能力を発揮する必要性と可能性が高まっています。URA、IR、評価、教育企画、学生支援、入試、国際化・・・など、そうした領域は広がりを見せています。しかし、こうした人材に求められる具体的能力やそのキャリア形成プロセスはまだ顕在的なものとはなっておらず、過渡的状況にあります。これらは、大学経営・政策コースをはじめとする大学院レベルの高等教育プログラムのあり方とも関連する課題です。現在、広島大学でシニア URA として研究支援活動に従事し、米国では国際化の専門職を担うなど、豊富な経験をお持ちの三代川氏をお招きし、日米比較を軸に、リサーチアドミニストレーターをはじめとする大学内専門職の現状と将来像について議論します。

司会：福留 東土 (東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース准教授)



\*会場への詳しいアクセスは以下をご覧ください。 <http://www.p.u-tokyo.ac.jp/cg>

\*本セミナーは公開で行われます(参加費無料)。学外者の方も自由にご参加下さい。  
資料準備のため、参加希望の方は 6 月 9 日(木)までに以下まで氏名・ご所属を Email  
でお申し込み下さい(当日参加も可能です)。

[daikei3@p.u-tokyo.ac.jp](mailto:daikei3@p.u-tokyo.ac.jp)

〈お問い合わせ先〉 大学経営・政策コース事務局 [daikei@p.u-tokyo.ac.jp](mailto:daikei@p.u-tokyo.ac.jp)

TEL/FAX 03-5841-3993